

# 農の未来ネット

NO.52  
12月号

特定非営利活動(NPO)法人「農の未来ネット」

理事長：倉本器征(東京農工大学名誉教授)

発行責任者：田沼 繁(NPO法人農の未来ネット事務局：電話&FAX 042-313-3620)

編集長：西村正昭

<http://www.nou-mirai.org/index.html>



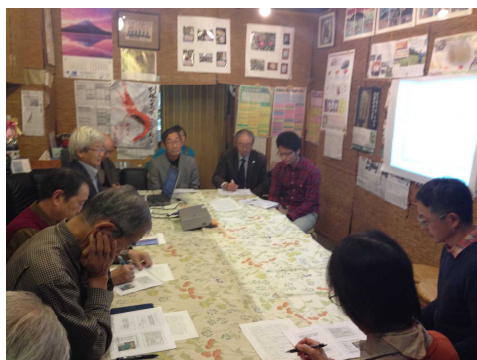
## サロン学習会

### 地域資源による自然生態系の修復と再生可能エネルギーの利用



#### 「農の未来ネット」編集長 西村 正昭

12月7日に東京・千代田区のワーカーズ・フェビデンで農の未来ネットのサロン学習会が東京農大総研研究会アグリビジネス部会の共催で開かれました。東京農大総合研究所の両角和夫教授が「地域資源による生態系の修復と再生可能エネルギーの利用」をテーマに話しました。両角教授は、東日本大震災



#### 【写真】

サロン学習  
会会場

による農林水産業の被害を明らかにし、「循環型流通経済圏」の構築と社会技術、再生可能エネルギーと「地域環境ビジネス」、地域分散型エネルギー社会構築の展望についてスライドを使いながら報告。

両角教授は、平成15年から18年に科学技術振興機構の「いわて発循環型流通経済圏の構築に関する研究」の代表として農村地域の社会問題の解決に必要な社会技術の研究開発に取り組んできました。

両角教授は岩手県陸前高田市で住民とともに分散型エネルギー社会の構築に取り組んできた研究が東日本大震災の復興を考えるうえでも極めて重要であると指摘しました。地域資源を活用した再生可能エネルギー利用の実現をめざす地域環境ビジネスの創出の事例を陸前高田市の生田地区の事例を紹介しました。

同研究会の代表として取り組んできた両角教授は、「森林生態系の修復をビジネスとして実現するため社会技術を研究開発し、その一環として間伐材を活用した木炭発電とそのビジネス化に取り組んできた」とスライドで実物を紹介。さらに森林生態系の修復が進めば、小河川などの流量が安定し、水車の活用で発

電、小水力発電が可能だと説明しました。間伐材が再生可能エネルギーとして活用した研

### 8. 木製水車



出力は0.4kw  
落差:50cm  
この横にある養魚池の落水を利用  
養魚池の水溜は、清水の湧出しずのわっすいという湧水である。  
転前はこの湧水の水を製糸工場の動力源としていた。

右は、水車に取り付ける発電機  
アキシャル型の発電機で、通常は風車の発電機に使う。  
ゆっくり回転しても発電するので利用



**【写真】**  
**近年は木製水車を作る職人がいないとのこと**

究報告には、どこでも実行できるのではないかと。東日本大震災前から再生可能エネルギーを研究されていたのには、驚きました。福島原発事故を契機に再生可能エネルギー問題が重要な課題となっている時期にサロン学習会は両角教授から貴重な話を伺うことができ、大変に勉強になりました。

学習会の後は、フェアビンドンの石井さん、森さんが丹精を込めて調理してくれたローストビーフ、油揚げのピザ、しめ鯖、カツ煮などのオードブルをいただきながら飲食しました。自己紹介も兼ねながら楽しく交流を深めました。



### 「農の未来ネット」事務局 濱田 仁

平成26年春に開催する農業体験プログラム説明会を、東京練馬の武蔵大学を会場に開催しました。本プログラムは平成25年春と夏の開

催に続き、3回目の説明会になります。

当日は就職支援を行うキャリア支援センターの会場をお借りし開催した所、思ったより会場

**春休 農業体験しませんか？**  
ただ今、大募集中！  
なんと来客も開催します！

農業体験プログラム実施期間  
平成26年2月～3月  
埼玉県深谷市 埼玉産直センター

農業体験プログラムは次のような特徴があります。

- ① 農業の現状と身近な食生活について考えるチャンス！
- ② 農家の方と一緒に作業を行い、大きなやりがいを感じられます。
- ③ 農業法人がバックアップ！インターンシップと同じような社会体験をすることができます。

今回の農業体験プログラムでは、交通費・宿泊・食費をしっかりサポート！  
農家の方と一緒に働き、農業を理解し、働く生き甲斐を感じられるチャンスです。

将来、農業を仕事にしたいと考えている方にオススメしたいのももちろん、農業に興味のある方も是非お問い合わせください。  
前回、プログラムに参加した方も大歓迎！



プログラム説明会の様子

参加期間・栽培作物など希望を自由にお聞かせください。短期間または複数期間なども対応が可能です。

#### 問い合わせ・申込みなどについて

- ・下記アドレスに必要事項を記入してメールを送信  
tolawase@nou-mirai.org お名前と学校名・連絡先(任意)を記入
- ・Facebookからメッセージ  
<http://www.facebook.com/nou.mirai>
- ・武蔵大学生はキャリアセンターでも問い合わせ受付をしています。

主催：NPO法人 農の未来ネット <http://www.nou-mirai.org/>  
共催：農事組合法人 埼玉産直センター <http://www.sanchoku.or.jp>

近くを通る学生数が少なく、もう少しPRを広げられた方が良かったかとも感じられました。しかしながら熱心な姿勢の学生1名に参加いただき、さらに追って詳細をキャリア支援センターに問い合わせる学生もいらっしゃいました。よって、今後も積極的に本プログラムのPRを進めてまいりたいと考えています。

また、今回の説明会の会場が大学であったことから、プログラムの参加対象が学生と捉えられてしまうとの懸念があります。実際には大学生・青年の方に積極的に参加していただきたいと考えており、今後の本プログラムの開催方法などについても検討を進めてまいります。農業体験プログラムにつきましては、ホームページとFacebookでも説明とご報告をしております。是非ごらんください。

なお、今回の説明会開催にご協力いただきま

した武蔵大学キャリア支援センター様には、多大なるご理解とご協力をいただいております。ここに御礼申し上げます。

## 農の未来ネット 収穫祭

12月21日（土）13:00から食農研センターフェア・ビンデンにて農の未来ネット収穫祭を開催しました。

はじめに、「みらい体験農場」の農場長でもあるオラッチこと一之瀬さんから挨拶と今年



【写真】収穫祭で挨拶する一之瀬副理事長

のみらい体験農場における栽培結果の説明があり、今年は、毎年栽培しているお米の品種「彩のかがやき」について、栽培の難しさから収量が増量できないままにいたが、今年は例年になく増収したことなどが紹介され、今年の「みらい体験農場」の活動状況が良好であったことが報告されました。今年の収穫祭には新たに理事に就任していただいた後藤光蔵武蔵大学教授や事務局員になっていただいた岩藤さん、同じく事務局員になっていただいた「みらい体験農場」で若手リーダーとし

て活動していただいている武蔵大学学生の青木さんも参加していただくとともに、毎年、収穫祭に参加していただいている上田さんからワインと日本酒の思わぬ差し入れがあるなど華やかな会となりました。収穫祭では参加者1人1人から今年の感想が披露され、特に青木さんから、日本農業会議所への就職が決まったことが報告されると参加者から拍手とともにお祝いのエールがあちこちから送られた次第です。

さらに、国産素材を使用して調理していただいた、フェア・ビンデンの石井さん・森さんによるテーブルに乗せきれない各種料理が並び参加者一同、身体も心もいっぱいになる楽しい収穫祭となりました。ひとつ心残りなことは、「みらい体験農場」へ圃場を提供していただいているとともに栽培アドバイスをいただいている地主の細田さんが参加出来なかったことが残念です。「みらい体験農場」をはじめとして農の未来ネットは来年もいろいろな取り組みをを楽しく進めてまいります。

全国農民連ふるさとネットワーク主催

## みほん市見学記

「農の未来ネット」事務局長 田沼 繁  
農民連ふるさとネットワーク等が主催する「みほん市」は今年で4回目、11月27日（水）、東京の大田区産業プラザ大展示ホールで行われ

たので、ぶらぶらぶらと見て歩きました。今回のテーマは「復興」。日本農業の底力と産直品の良さをアピールする機会と位置付けて、北は北海道から南は沖縄県まで全国から参加しています。



**【写真】最初に寄った千葉北部酪農協**



**【写真】**

**みほん市チラシ**

**【写真】**

**みほん市会場**



大田区産業プラザは京急蒲田駅から徒歩で2、3分。アクセスが大変良い。会場に入るや見慣れた顔ぶれが。何とも和やかな会場です。さっそく出店している場所へ。最初に千葉北部酪農協にて焼き肉をいただき、美味しかったですね。実は、この「みほん市」は、試食会が目的ではなく商談のようで「商談スペース」がちゃんと設けられていました。でも、あちこちで試食し試飲し、帰りにはお土産もどっさりいただきましたよ。この見て歩きはとても有意義でした。

次回は、皆さんも参加しては如何でしょうか。



## 編集後記

「12・8の日付を忘れることはできない。今、忘れない日付のリストに12・6を加えなければならない」と天声人語は2013年12月8日付で書いています。そうです。安倍政権は、再び戦前のように侵略戦争をする国に日本をしたてようと勝手放題・強引に秘密保護法案を成立させました。絶対に許せません。祖父の岸信介元首相が1960年の安保改定を強行したと同じように孫の安倍信三首相も国会内での数の力で国民の声を聞かずに暴走しています。日本の歴史に影を残す祖父と孫。私にもかわいい4歳の孫娘と中学1年生の孫がいます。1944年生まれの私は戦争の実態は知りませんが、侵略戦争で日本国民とアジアの民衆に多大な犠牲を与えたことは学んでいます。孫には戦前のような苦しみを味あわせたくないです。農業の大切さを知ってもらおうと畑に夫婦で孫の好きなイチゴを栽培しています。イチゴの生育を時々知らせています。そのたびに喜んでいきます。笑顔を失わせてはならないという思いです。秘密保護法を成立させた安倍政権が何をしたかをしっかりと孫たちにも知らせていかなければならないでしょう。私の住んでいる町の駅頭で12月9日の「9の日」行動で憲法9条を守ろうとの呼びかけの宣伝に参加しました。悪法を必ず廃棄させようと孫の将来のためにも恥じない行動をしようと決意をしています。(西村)

